

2025 年 7 月 23 日

各 位

株式会社デジタルプラス（コード番号：3691）

代表取締役社長 菊池 誠晃

デジタル報酬払い「働いたその日に、好きな方法で即受け取り」を提供開始

資金移動業者として、副業・業務委託を対象とした

報酬支払いの多様化と工数・コスト削減を実現

株式会社デジタルプラス（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証グロース市場：証券コード 3691）の子会社である、株式会社デジタルフィンテック（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：北海道札幌市）が運営する「デジタルウォレット」を活用し、報酬支払い領域へ進出してまいります。

■「働いたその日に、好きな方法で即受け取り」

近年、副業・スキマバイトといった柔軟な働き方が広がる中、ワーカーが最も求めているのは「報酬の即時性」と、少額の場合の「受取先の多様性」です。



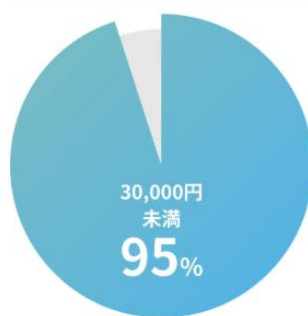
副業やスキマバイトといった柔軟な働き方が広がる中、働く人の価値観やニーズも大きく変化しています。1 日単位や数時間だけのスポットワークが増加し、「今日働いた分は、今日のうちに受け取りたい」という声は日増しに強まっています。また、必ずしも現金振込だけでなく、「今すぐ使える Pay サービスで受け取りたい」「ネットショッピングで利用したいからギフトで受け取りたい」といった受取先の多様化も明確なニーズとして顕在化しています。

即時性

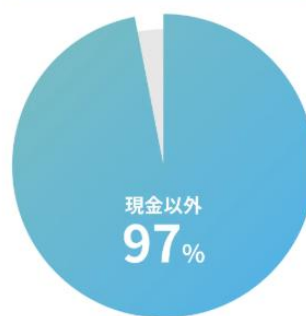
すぐに受け取れること

多様性自分の好きな受け取り方で
受け取れること

当社デジタル受領額の分布



3万円未満の受取先傾向



※デジタルウォレット・デジタルギフト®を対象とした当社調べ

特に、当社既存サービスの統計によれば、デジタルでの受取のうち約95%が3万円未満という少額での受取が中心となっており、さらにそのうちの97%が現金以外の方法（ギフト・PAY サービス等）での受取を選択しています。つまり、多くの人が「少額でもすぐに・好きな方法で受け取りたい」と感じているということです。

■デジタルウォレットによる報酬支払い

▼ユーザー視点：「報酬の即時性・多様性」が働き方の自由度を支える

地方銀行を含む全銀行に加え、PayPay マネーライトや Amazon ギフトカードなどのキャッシュレスから選んで、リアルタイム受取が可能になり、報酬を少額からでも好きな方法で即時に受け取れます。

将来的には、即時に受け取れるだけでなく、「何に使うか」といったユーザー1人1人の目的に応じた報酬の最適化にも取り組んでまいります。「旅行に行きたい」という目的があるユーザーに対して、報酬を旅行サービス（マイル等）で受取った際に、たとえば今なら10,000円が12,000円分のバリューに増額される—そのような仕組みを実装予定です。これは、単なる受取から、ユーザーの目的に寄り添う体験へと進化させる取り組みです。

サービス開始当初は、受け取ったお金を送金する際に、送金先によっては受取ユーザーに手数料が発生します。ただし、規模の拡大に伴い、更なる低価格化を実現してまいります。例えば、現金への送金の際に、銀行振込手数料よりも安価な水準での提供を予定しており、ユーザーの負担を抑えた運用が可能となる予定です。

▼導入企業視点：「工数・コスト削減」×「自由度」により人材確保を支える

従来の銀行振込では、口座情報の収集・照合、手数料処理など煩雑な業務が発生していましたが、「デジタルウォレット」ではこれらを一扫します。

- ・勤怠・労務システムとのAPI連携で、報酬データから送金までをワンストップ化
- ・第二種資金移動業者として、マネー・ロンダリング対策やeKYCによる本人確認を標準搭載
- ・銀行振込手数料と同等以下の手数料で、コストも最適化
- ・管理画面はシンプルなUIで直感的な操作が可能

また、近年スキマバイトサービスの台頭により、人材の流動性はかつてないほど高まっており、特に物流・建設・飲食などのブルーカラー領域では、正社員やアルバイトの定着率低下が深刻な課題となっています。

「働いたその日に報酬を受け取れる」ことは、特別な価値ではなくあって当然の機能になりつ

つあります。だからこそ、企業がより選ばれるためには、即時性に加え、「どうやって受け取るか」を自由に選べる受け取りの多様性が求められます。

当社の「デジタルウォレット」は、その両方を同時に実現する報酬インフラです。ユーザーは**自方の好きな方法で即時に報酬を受け取る**ことができ、満足度や継続意欲の向上に直結します。

また、この仕組みを自社内で完結できるため、

「まずはスキマで試す」→「即報酬で信頼を築く」→「定着へつなげる」

という柔軟な雇用サイクルを、外部サービスに依存せず、低コストで構築することが可能です。

■広がる市場と、報酬インフラのアップデート

副業、スキマバイト、クラウドソーシング、投げ銭、etc...

個人が働く場は急速に多様化し、共通するのは「短期・少額・高頻度」という新しい報酬構造であり、拡大の一途をたどっています。

市場	市場規模	出典/年
フリーランス・副業ワーカー	約 1,600 万人	ランサーズ/2023
スキマバイト利用者	約 1,000 万人	タイミー/2025
投げ銭市場	約 3,000 億円	Fintertech/2021
クリエイターエコノミー市場	約 2 兆円超	経済産業省/2024

それにもかかわらず、多くの報酬支払いはいまだに「月末締め・翌月払い/銀行振込一択」という旧来型のまま。つまり、「働き方は変わったのに、報酬の受け取り方は変わっていない」というギャップが、いまま社会に残り続けているのが現状です。

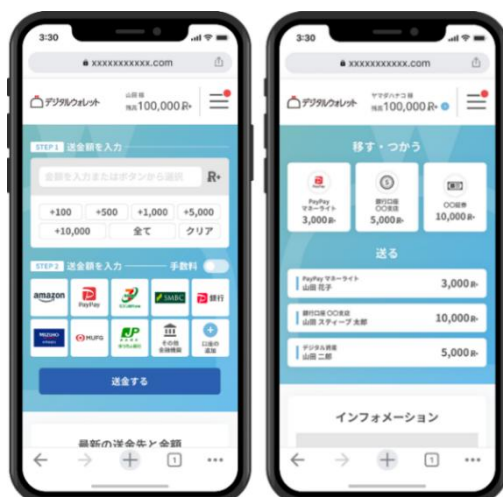
■サービス概要

・デジタルウォレットについて

資金移動業取得に伴う今回のリリースにより、報酬などの役務提供や中古品買取金など対価性のあるものを、地方銀行を含む全銀行や PayPay マネーライトや Amazon ギフトカードなどのキャッシュレスから選んで**リアルタイム受取**ができるようになります。

・デジタルウォレットからの送金先拡充

国内主要 PAY、主要サービスへの連携を皮切りに、地域通貨・暗号資産取引所・証券口座・海



外のキャッシュレス・プリペイドなど対応範囲を段階的に拡大し、金融機関や国の垣根を超えた送金先の多様化を図ってまいります。

※旧バージョンの「デジタルウォレット」につきましては、今後「デジタルギフト®」へ統合してまいります。

・サービス告知ページ

<https://digital-wallet.jp/plus/business-payout/lp01>

※本ページはサービスご提供前のページとなります。

なお、資金移動業サービスのリリースは 2025 年 9 月期中を目途としておりますが、資金移動業取得に伴い、本格的に営業を開始しております。

■デジタルウォレットを利用するメリット

①地方銀行を含むすべての銀行だけでなく、多様な受取先からも選択することが可能



受取先は続々追加予定！

支払い	遊び・体験	食べる	ゲーム・アプリ	子育て	寄付

サービス開始当初は、PayPay マネーライトや Amazon ギフトカードなどのデジタルマネー、および全銀行などの金融機関による現金受取を想定しています。

将来的には、AML/CFT 対策を適切に行える体制のもと、当局及び関係機関と連携し、証券口座や新たなデジタル資産との接続を視野に入れております。これにより、多様な受取手段を束ねるデジタルマネーの交換アグリゲーターとなることを目指します。

②送金・振込業務における工数やコストの削減

③eKYC を用いた反社チェックシステムを低コストでご提供

■デジタルフィンテック運営サービスについて

・デジタルウォレット：<https://digital-wallet.jp/>

・デジタルギフト®：<https://digital-gift.jp/>

■株式会社デジタルプラス 会社概要

社名	株式会社デジタルプラス
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
設立年月日	2005 年 7 月 29 日
事業内容	フィンテック事業・デジタルマーケティング事業
コーポレートサイト	https://digital-plus.co.jp/

■株式会社デジタルフィンテック 会社概要

社名	株式会社デジタルフィンテック
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 8-1-8
設立年月日	2016 年 4 月 20 日
事業内容	フィンテック事業

以 上

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルフィンテック 担当 原田
TEL:03-5465-0695
Email:info@digital-plus.co.jp

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルプラス PR 担当 諸星
TEL:03-5465-0690
Email:pr@digital-plus.co.jp